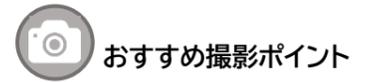


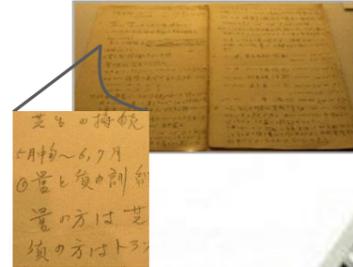
円谷幸吉メモリアルホールフロアガイド 主な展示品と見どころのご案内



7 1964年東京オリンピック
実際に使用したシューズと銅メダル、円谷選手が着用した公式ユニフォームやオリンピック公式グッズなどを展示しています。



練習ノートや練習用のシューズなどからは、倒れるまで走り続けたという円谷選手の姿が浮かび上がります。



8 1964 から 2020 へ 映像鑑賞コーナー
1964年東京オリンピックのメイン会場となった国立競技場は、東京2020オリンピックに向けて2014年5月にその歴史を閉じました。数々のドラマを見守ったその座席で円谷選手の走りをご覧ください。(約6分間)



スタートボタンを押してご覧ください

旧国立競技場の座席

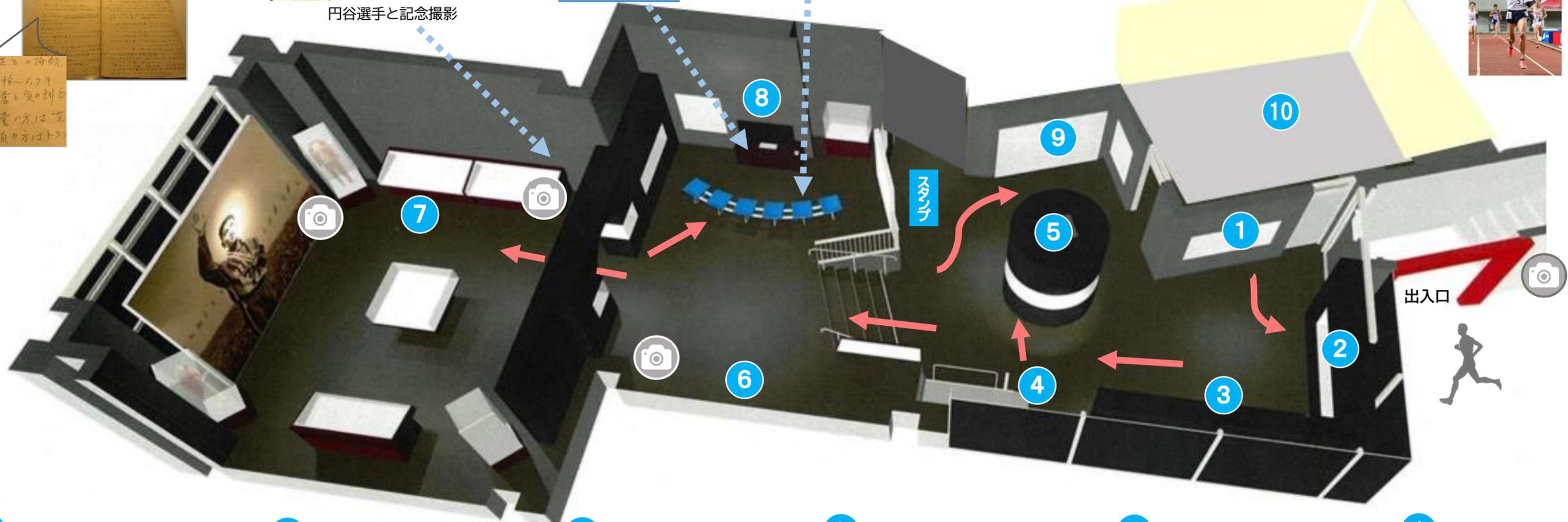
9 盟友 君原健二と円谷幸吉(パネル)
時代を駆け抜けた二人のランナーの絆を紹介しています。



10 企画展示室 ※展示内容が変わる場合があります
1964年の聖火リレー、円谷選手の凱旋パレードの映像の公開や、アシックス(当時のオニツカ株式会社)が円谷選手に提供したシューズのレプリカも展示しています。



円谷選手のDNAを受け継ぐランナーたちを紹介。東京2020オリンピック聖火リレーのトーチなども展示。



6 幼少期からオリンピック直前(パネル)
厳しかった父の教えから、高校時代の「替え玉出走」、マラソンを始めたきっかけや、オリンピック代表の座を獲得するまでのエピソードなどとともに、円谷選手の人生を振り返ります。



ニュージーランド遠征のお土産

5 マラソンランナーとしての記録
1964年3月の初マラソンで5位に入賞。翌4月に行われたオリンピック日本代表選考会で2位となり、初マラソンからわずか7か月でオリンピックに出場しました。



4 主な競技記録(パネル)
中学から高校へと進むにつれ才能を開花させ、数々の新記録を打ち立てました。円谷選手の輝かしい功績をご覧ください。

3 長距離ランナーとしての軌跡
高校2年のとき初めて走った駅伝で区間記録を出し、相手を抜き去る駅伝の面白さを知ります。初めて外国人と走った20000mのレースでは、優勝候補に次ぐ2位で世界記録を更新しました。



2 須賀川が生んだ栄光のメダリスト
凱旋パレードの写真や従七位勲六等瑞宝章、ブロンズ像(須賀川市寄贈)を展示しています。



1 円谷幸吉を知る(パネル)
主な略歴やプロフィールなどを紹介しています。

主な展示品を音声でご案内
QRコードの付いた展示品は、音声で解説をしています。